

No.270



# 青森県理学療法士会ニュース

## 第30回青森県理学療法士学会のご案内

第30回青森県理学療法士学会  
会 長 尾田 敦  
準備委員長 長内央臣

記

会 期：平成18年3月18日(土)、19日(日)  
会 場：弘前大学医学部保健学科 総合研究棟第24講義室(6F)  
第21講義室(5F)

弘前市本町66番地1  
TEL 0172 - 39 - 5981

内 容：特別講演

仮演題『青森県のリハビリテーションの展望』

講 師 弘前大学医学部保健学科教授 岩田 学先生

教育講演

仮演題『理学療法における動作分析』

講 師 信州大学医学部保健学科 木村貞治先生

一般講演

30回目の節目の学会です。「特別講演」「教育講演」を予定しておりますので、会員の皆様には、多数ご参加のほどお願い申し上げます。

近年、演題数が少なくなっております。会員の皆様には、積極的に発表して下さるよう、重ねてお願い申し上げます。

演題募集要項については、次号ニュースに掲載いたしますので、よろしくお願いたします。

# 平成17年度青森県理学療法士会症例検討会

学術局長 村上 三四郎  
研修部 佐井川 匠秀

昨年度より名称を変更し開催しております「青森県理学療法士会症例検討会」についてご案内致します。

発表者による話題提供をもとに、ディスカッション形式をとりながらおおいに日頃の悩みや、経験談を語り合える場にしたいと思います。

つきましては、会員の皆様より広く演題の募集を致します。例年新人会員中心としてまいりましたが、先輩会員の皆様にも、日頃の臨床活動の成果や疑問について発表する機会として大いに活用して頂きたいと思致します。

尚、本会の発表者には新人教育プログラム「症例検討」の単位、参加者には「症例検討」の単位がそれぞれ認定されます。

- 記 -

と き：平成17年12月3日（土）・4日（日）（予定）（演題数により期間短縮あり）

ところ：青森県立保健大学

参加費：500円

申込先：（医）芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL.017-738-2214 FAX.017-738-2249

E-mail：fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

締 切：平成17年10月14日（金）

発表希望者の方へ

発表内容は症例報告に限らず、日頃の業務に関する悩みなどをまとめて頂いてもかまいません。締切までの抄録の作成は不要ですが、上記期日までに発表の意志、できれば（仮）タイトルをお知らせ下さい。

## 心臓リハビリ研修会 印象記

（財）黎明郷 弘前脳卒中センター 藤田 俊文

県立保健大学にて、北里大学病院の松永先生による「心疾患に対する理学療法の位置づけと実際」の特別講習会に参加してきました。内容としては、虚血性心疾患の理学療法の情報収集（疾患の特性）やリスクの層別化・運動療法の流れ、運動負荷試験の実際と解析・心電図の判読・モニタリング・また実際のデータをふまえた演習などなど、ここでは書ききれないほど・・・頭の中では整理できないほど・・・の中身の濃い内容でした。

日々の臨床の中では、心疾患に対して中心的にリハビリは行っておらず、また運動負荷試験などは行っていませんが、当院に入院してくる患者様の中には、合併症として心疾患を有している方が多いのが現状です。そのため今回の研修会を通して心疾患に対しての知識が浅いということと再度勉強が必要であることを痛感させられました。

運動強度の設定にあたり、運動負荷試験を行い適正なデータをもとに AT を決定し、運動処方する

だけではなく、主観的運動強度（borg scale 等）、HR、年齢、下肢筋力、日常労作の運動強度表活用などの活用についても説明をいただきました。機器が十分な状態でなくとも運動処方は可能であり、ちょっとした指標の活用で運動の目標やモチベーション向上に役に立ち、すぐに臨床に生かすことが可能であると思いました。

先生がおっしゃっていたことで、強く記憶に残ったこととして、血圧・脈拍の管理・記録について重要性に関してのことでした。日々の業務の中で十分にリスク管理がおろそかになっている（あってはならないことなのですが・・・）私にとって初心に帰る想いでした。

とさまざまなことを学び反省させられた研修会でした。今回の研修会をもとにしてさまざまな視点から患者さまを診ることができるよう日々精進していきたいと思います。

## - ご案内 -

### 理学療法研究第23号(2006年3月発行予定)の投稿募集

学術局学術誌編集部 土橋 真由美

理学療法研究第23号(2006年3月発行予定)の原稿を募集致しております。投稿を希望される方は、理学療法研究第22号の投稿規定および執筆要綱 P65～67 をご覧頂き、締め切り日までに原稿を下記投稿先に郵送にてお送り下さい。なお、投稿原稿の保存メディアについては、校閲後にあらためて提出(11月上旬予定)して頂きますので、その旨よろしくお願いたします。

#### **投稿締切日：2005年9月30日(金)必着**

投稿先・問い合わせ先

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内

青森県理学療法士会学術局 学術誌編集部 土橋 真由美 宛

TEL & FAX : 0172-39-5981

E-mail : dobashi@cc.hirosaki-u.ac.jp

# 介護予防・筋力向上トレーニング実践指導者養成研修会

青森県立保健大学 三浦雅史

当士会では、昨年度より県健康福祉部から委託され、「介護予防筋力向上トレーニング事業」を実施しております。昨年度は実際に3ヶ月間のトレーニングを実施し、本事業の有効性が実証されました。今年度は、トレーニング指導に当たる指導者養成のための研修会を開催致します。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

## 1. 研修について

講義1日、実習2日の3日間とする。

「講義」「実習」の順で受講することが望ましいが、「実習」から先に受講しても可。

## 2. 講義について

青森市（1回）、弘前市（1回）、八戸市（1回）の3市で開催

受講者は のうちのいずれかに出席する。

## 3. 実習について

県立保健大学で3回開催する。

受講者は3回のうち、2日間連続で出席する。

## 4. 日程について

講義 9：30受付（1コマ：50分）

回	日 程	開催地（施設名）
1回目	10月5日（水）	弘前市（弘前保健所 2Fミーティングルーム）
2回目	10月28日（金）	八戸市（八戸合同庁舎 2F第1会議室）
3回目	10月29日（火）	青森市（県立保健大学）

10：00～10：50 「介護予防における筋トレ事業の概要」

11：00～11：50 「安全対策、体力測定の概要」

13：00～13：50 「トレーニング全般の流れ、ウォーミングアップ」

14：00～14：50 「理学療法評価と個別及び機能的トレーニング」

15：00～15：30 「事業の分析・評価」

実習 9：30受付（1コマ：80分）

回	日 程	開催地（施設名）
1回目	9月26日（月）・27日（火）	青森市（県立保健大学 体育館）
2回目	11月16日（水）・17日（木）	〃
3回目	12月7日（水）・8日（木）	〃

<1日目>

10：00～11：20 「体力測定とPT評価の実際」

12：30～15：00 「杖なし会」の見学実習

15：10～16：30 「マシントレーニングの実際」

<2日目>

10：00～11：20 「ウォーミングアップ、軽運動等」

12：20～14：40 「個別及び機能的トレーニングの実際」

14：50～15：20 「総括、質疑応答」

\* 講義、実習とも講師の都合等により順序が変更する場合もある。

\* 実習については、運動のできる服装、内履き等を準備してきて下さい。

## 5. 参加申し込み方法

講義、実習それぞれ希望する回を明記し、下記までFAXまたはE-mailでお申し込み下さい。

**締め切り:9月30日(金)(ただし、実習1回目希望者は9月16日(金)まで)**

なお、参加人数によっては直前の申し込みも受け付ける場合がありますので、ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

青森県立保健大学 三浦雅史  
TEL・FAX:017-765-2082  
E-mail:mimiura@auhw.ac.jp

# リハ・カレントトピックス&レクチャー 第17回日本リハビリテーション医学専門医会学術集会

日時：平成17年10月22日(土)～23日(日)

会場：ぱ・る・るプラザ

内容：

10月22日(土)

シンポジウム(13:10～15:40)

嚥下障害のリハビリテーション

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 「非VF系摂食・嚥下機能評価法」 | 馬場 尊(藤田保健衛生大学)  |
| 2. 「VEのこつと臨床的応用」    | 藤島 一郎(聖隷三方原病院)  |
| 3. 「VEのこつと臨床的応用」    | 石井 雅之(川崎医科大学)   |
| 4. 「摂食訓練の展開と嚥下障害食」  | 藤谷 順子(国際医療センター) |

パネルディスカッション(15:50～18:20)

臨床研修必修時代におけるリハビリテーション科専門医養成システムについて

10月23日(日)

特別講演1(9:30～10:30)

「リハビリテーション科専門医」のIdentityと求められる専門医像  
宮野 佐年(東京慈恵医科大学)

特別講演2(10:35～11:55)

「電気診断学における最近の進歩と臨床応用」  
馬場 正之(弘前大学医学部神経統御部門)

ランチョンセミナー(12:05～13:05)

「脳卒中急性期リハビリテーションupdate」  
石神 重信(浜松市リハビリテーション病院)

一般学術演題(13:10～16:00)

リハ専門医の学会ですが、専門医以外の方の参加も歓迎いたしております。

参加費：リハ専門医会会員以外(PT, OT, ST, Nrs, 学生等) 1,000円

問い合わせ先：青森県立中央病院 リハビリテーション科 山田 伸

〒030-8553 青森市東造道2-1-1 TEL 017-726-8188



## ボーリング大会のお知らせ！



スポーツの秋がやって来ました。日ごろの運動不足を解消すべく、ボーリング大会を行いたいと思います。上十三地区では何回か行っているのですが、今度は県内の皆様とも汗を流したいなと考えています。大会の詳細は次回ニュースに掲載しますが一人3ゲーム投げての3～5人でチーム戦と個人のスコアを競いたいと思います。もちろん商品も準備します。日時は10月15日（土）午後3時に十和田市のイーグルボールで開催します。その後で懇親会（飲み会！）も企画して親睦を深められたら良いなと考えています。県土会員の普段は見られない意外な一面が見られるかも・・・

仲良しグループ、もちろん一人だけの参加も大歓迎です。こういった場で知り合いを増やすのも**ありです！** 運命の相手に会えるかもしれません・・・、（会えなくても当方では責任は負いません）是非参加したい！という方は下記の担当者まで連絡下さい。奮っての参加をお待ちしています。

問い合わせ・申し込み先  
介護老人保健施設ハートランド  
訪問看護ステーションえがお  
理学療法士 川崎朗  
0176-25-2590  
Mail: peperu-an-urepep@sirius.ocn.ne.jp

## ～ 理学療法士求人情報 ～

### 医療法人芙蓉会

職 種：理学療法士、作業療法士

勤務形態：常勤、非常勤

業務形態：訪問リハビリテーション業務

勤務時間：月～金 8:30～17:00

土（隔週） 8:30～12:30

その他：施設見学は随時受付しております。

訪問リハビリテーションに関心のある方、是非御連絡下さい。

問合せ先：青森市雲谷字山吹93-1

Tel: 017-764-1815

医療法人芙蓉会 本部 事務局長 穴水明雄

# 大里脳神経リハビリテーションクリニック

- 募集職種 : 常勤理学療法士 1名  
待遇 : 当院規定により優遇(詳細は面談にて)  
当院紹介 : 平成16年12月1日に開院した脳神経疾患診療と外来リハビリテーションを重視する無床診療所です。訓練室は理学療法、作業療法、言語聴覚療法に対応した面積と設備となっております。意欲のある方の応募を期待しています。  
応募方法 : 下記までお気軽にご相談ください。  
〒031-0816 青森県八戸市新井田西3丁目15-15  
TEL : 0178-30-1112 FAX : 0178-30-1600  
担当 : 院長 大里 孝夫

## 【ニュース編集部通信】

### 原稿受付に関するお知らせ

NO.269よりニュース編集部中弘南黒・西北五地区担当者の勤務先、並びにメールアドレスが下記のとおり変更となっております。

連絡先をお確かめの上、お問い合わせまたは原稿の送付をお願い致します。ご不明な点などにつきましては、編集部長または各支部担当者までお問い合わせ下さい。

次回の原稿締切は、平成17年9月27日(火曜日)です。

原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当にフロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

### 青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

### § ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北 : 工藤 寛教 (あもり協立病院)

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号 TEL 017-762-5500 FAX 017-729-3260

E-mail : celeste\_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のもので、ご注意ください。)

三八・上十三 : 川口 恵理 (シルバー病院)

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail : ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

**中弘南黒・西北五：藤田 俊文（弘前脳卒中センター）**

〒 036-8104 青森県弘前市大字扇町一丁目 2 番地 1 TEL 0172-28-8220 FAX 0172-28-7780

E-mail : pt\_staff@hirosakistroke-c.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長：梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒 039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail : pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員：伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（弘前脳卒中センター）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

加藤 義人（なかざわスポーツクリニック）

久保 稔（八戸整形外科クリニック）

外交局広報部（HP 担当）：安田 友久（青森労災病院）

////////////////////////////////////  
**編集後記**

夏の甲子園も終わり、青森もようやく涼しくなるかと思ったら、まだ暑さが続いています。（皆様がこれを読む頃には涼しさを通り越してしまってるかも？）これも地球温暖化の影響かと思っていたら、私の車が3週間ほどディーラーに入院・・・思わぬところで60%くらいの二酸化炭素削減に貢献することになりました。でもその間、ストレスは増加する一方でした。（文責：工藤）  
////////////////////////////////////

**奥 付**

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216 南津軽郡藤崎町榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail ; ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp